数学・統計学

（取得単位数：1単位）

教育の目的

医療分野での各種データのまとめ方、読み取り方を学ぶために、統計学の基礎を理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	1　統計学とは何か 2　記述統計学と推測統計学 3　記述統計学 　(1)　代表値 　(2)　度数分布 　(3)　基準値と偏差値 　(4)　分布曲線 4　推測統計学 　(1)　母集団と標本 　(2)　標本統計量の分布 　(3)　母平均の推定 5　母比率の推定	配布資料	試験

物理学

（取得単位数:1単位）

教育の目的

生理光学を理解するための基礎となる物理学の法則、特に幾何光学について学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　基礎計算 2　光の本性 3　光の性質 (1)　反射の法則 (2)　屈折の法則 (3)　全反射 (4)　回折 (5)　色の種類 (6)　光のスペクトル (7)　分散 4　レンズの働き (1)　凹・凸 (2)　レンズの公式 5　光線のフレ (1)　平行平面板 (2)　プリズム 6　レンズ (1)　面屈折力 (2)　レンズとは (3)　レンズの分類	2	試験 ＊

＊中野先生の試験範囲は生理光学Ｉの内容も含む。

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
2	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院
3	新しい眼光学の基礎	西信元嗣・魚里博	金原出版

生物学

（取得単位数:2単位）

教育の目的

医学を学ぶ前段階として、生物学の基本的概念を理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	1　細胞の構造・機能 (1)　細胞内小器官の構造と機能 (2)　細胞分裂 2　組織の構造・機能 上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織 3　受精から個体発生 (1)　精子、卵子 (2)　胚葉の形成と器官への分化 4　遺伝子 (1)　基本構造と機能 (2)　核遺伝子 (3)　ミトコンドリア遺伝子 (4)　遺伝子発現の調節 5　遺伝 (1)　メンデルの遺伝法則 (2)　性と遺伝 (3)　ヒトの遺伝	資料配布	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	医学を学ぶための生物学	谷口直之・米田悦啓	南江堂
2	シンプル生理学	貴邑冨久子・根来英雄	南江堂

国語表現法

（取得単位数:1単位）

教育の目的

文章作成演習を通して、文章作成の基礎的知識・技術を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	1　ガイダンス・意見文作成① 2　文章作成の基礎的事項（正しい日本語表記）、意見文の見直し① 3　文章作成の基礎的事項（良い文章の条件）、意見文の見直し② 4　文章の作り方 5　推敲、意見文作成② 6　段落、意見文の見直し② 7　段落、意見文の見直し② 8　レポートを書く 9　レポートを書く 10　説明文を書く 11　説明文を書く 12　文章の要約法 13　敬意表現 14　試験対策 15　試験	配布資料	試験
		30	1　書き言葉と話し言葉・仮名遣い 2　抽象と具体・話をまとめ段落を作る 3　紛らわしい表現・同音異義語の分のねじれ 4　他人の文章を分析・要約してみる 5　要約課題提出 6　課題分のあるレポート作成（1） 7　課題分のあるレポート作成（2） 8　課題分のあるレポート作成（3） 9　文章校正・自己添削 10　課題分のあるレポート作成（A） 11　課題分のあるレポート作成（B） 12　文章校正・自己添削 13　課題分のあるレポート作成（X） 14　課題分のあるレポート作成（Y） 15　課題分のあるレポート作成（Z）	配布資料	レポート

合計 60 時間

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ演習

（取得単位数：2単位）

教育の目的

Windows　Word Excel 等の基礎知識を学び、習熟する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	1　マウスの操作 2　Windowsの基本知識 3　文字入力 4　図形描写 5　Word の基本操作 6　Excel の基本操作 7　Power　Pointの基本操作	1	実技 試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	Microsoft　Office　Word2019＆Excel 2019 ＆Power　Point2019		富士通エフ・オー・エム

心理学

（取得単位数:1単位）

教育の目的

人間の心の働きや行動の仕組み、法則性について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　心理学とは 2　検査法・実験法 3　記憶・学習 4　性格・適応 5　知能 6　知覚 7　心理学実験Ⅰ 8　心理学実験Ⅱ 9　心理学実験Ⅲ	配布資料	ﾚﾎﾟｰﾄ又は試験

保育

（取得単位数:1単位）

教育の目的

保育とは何か、そして乳幼児の発達について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　保育とは・保育を学ぶ意義・保育実習の心構え 2　保育園の一日・保育士の業務 3　乳幼児の発達① 4　乳幼児の発達② 5　遊びの意義 6　子どものかかわり方 7　保護者対応・他機関連携 8　日誌・記録の書き方	資料配布	試験

人間関係論

（取得単位数:1単位）

教育の目的

演習を通して、人間関係の諸問題を理解し、円滑な人間関係を築く方法を探る。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	対象者別コミュニケーションの取り方 1　言葉遣い 2　話し方 3　ロールプレイ	資料配布	実技試験
		15	人間関係を円滑にするための技法（実践）	資料配布	試験

合計 30 時間

医学英語Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

基本的な英文法や和訳・英訳などの英語力を身につける。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	英文和訳(一般的な文章)と英文法	1 資料 配布	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	医療英語コミニュケーションテキスト		国際教育社

医学英語Ⅱ

（取得単位数：2単位）

教育の目的

専門英語を読解するための基本的な文法を学び、一般的な英語長文を読む。基本的な科学英語文献を読解する。

眼科外来での英会話表現を学ぶ。基本的な科学英語文献を読解する。眼科専門分野の文献を読解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	眼科専門分野の文献読解・医療英語	1 資料 配布	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	医療英語コミニュケーションテキスト		国際教育社
2	眼科用語集		日本眼科学会

接遇・マナー教育

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

社会人として円満な人間関係を築くのに必要なマナーを身に付ける。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	14	1　道徳・常識・マナー 2　あいさつ 3　敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語） 4　話し方の基本 5　話しの聞き方と指示・命令の受け方	1	試験
		1	学校でのマナー	資料配布	なし

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	Hand-book of LIFE STYLE		日本販売企画

解剖学・生理学

（取得単位数:2 単位）

教育の目的

人体の構造と機能について系統的に学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	1　血液、造血器の構造・機能 (1)　血液成分 (2)　骨髄 2　骨と関節の構造・機能 (1)　骨・軟骨 (2)　関節・滑膜 (3)　骨格 3　筋肉の構造・機能 骨格筋、腱、靭帯 4　気道の構造・機能 5　肺の構造・機能 6　心臓・血管の構造・機能 (1)　心臓 (2)　血管 (3)　血圧、脈拍、循環 7　口腔・咽頭の構造・機能 8　消化管の構造・機能 9　肝臓・胆道・膵臓の構造・機能 10　内分泌器官の構造・機能 (1)　内分泌器官 (2)　ホルモンの種類・作用機序 11　腎臓と尿路の構造・機能 12　生殖器の構造・機能 13　感覚器の構造・機能 (1)　聴覚系 (2)　前庭平衡系 (3)　嗅覚系・味覚系 (4)　体性感覚系	2	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	人体解剖ビジュアル		医学芸術社
2	からだの地図帳	高橋長雄	講談社
3	神経眼科　臨床のために	江本博文ほか	医学書院
4	ビジュアルテキスト脳神経		医学書院

解剖学・生理学実習

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

講義で学んだ人体の構造と機能について実習を行い、より理解を深める。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	1	1 年担任	実習オリエンテーションと科学レポート作成法	なし	なし
		12	高橋　周平	1　健康診断の対象と項目 2　生理検査（生体検査）体温・脈拍・血圧 3　血液検査と採血法 4　感染症の検査 5　肝機能検査 6　糖尿病の検査	資料配布	ﾚﾎﾟｰﾄ
		20	露木　葵唯	1 呼吸気量の測定 2 循環器機能の測定 3 眼球の組織構造の観察 (1)　角膜 (2)　強膜 (3)　ぶどう膜 (4)　網膜 (5)　水晶体 (6)　視神経 4 発生過程	2	ﾚﾎﾟｰﾄ
		12	佐藤　智亮	1 皮膚感覚の測定 2 全身解剖	2、4	ﾚﾎﾟｰﾄ

合計 45 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	からだの地図帳	高橋長雄	講談社
2	現代の眼科学	所敬	金原出版
3	ビジュアルテキスト脳神経		医学書院
4	人体解剖ビジュアル		医学芸術社

脳・神経の解剖学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

眼科専門分野を学ぶ基礎として、ヒトの神経系の構造について学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　神経の構造・機能 (1)　神経細胞 (2)　シナプス、神経伝達物質 2　中枢神経の構造・機能 (1)　脳 (2)　脊髄 3　末梢神経の構造・機能 (1)　脳神経 (2)　脊髄神経 4　自律神経 (1)　交感神経 (2)　副交感神経	1、2	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	ビジュアルテキスト脳神経		医学書院
2	神経眼科　臨床のために		医学書院
3	からだの地図帳	高橋長雄	講談社
4	人体解剖ビジュアル	松村譲兒	医学芸術社

免疫学・微生物学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

人体を外敵から守る生体防御機構について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　免疫系の構成・機能 (1)　自然免疫 (2)　獲得免疫 2　免疫応答 (1)　細菌に対する免疫 (2)　ウイルスに対する免疫 (3)　寄生虫免疫 (4)　過敏症とアレルギー反応 (5)　移植 3　院内感染	資料配布	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	免疫学への招待	多田富雄監訳	南江堂
2	免疫　からだを護る不思議なしくみ	矢田純一	東京化学同人
3	シンプル免疫学	中島泉・高橋利忠・吉開泰信	南江堂

医療倫理学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

倫理とは何か、医療人として守るべき医の倫理とは何かについて考える。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1 インフォームド・コンセント 2 医療倫理の四原則 3 健康と病気/病者への差別と排除 4 安楽死と尊厳死/終末医療 5 レポート講評/脳死と臓器移植 6 人体の資源化・商品化/再生医療 7 出生前診断・着床前診断/優勢思想 8 感染症の歴史	1	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	テーマで読み解く 生命倫理		教育出版

人間発達学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

心理を中心とした人間の発達について学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　小児心理の特性 (1)　乳児期 (2)　幼児期 (3)　児童期・学童期 (4)　思春期・青年5期 2　障害者に接するということ 3　発達障害について 4　精神障害について 5　精神・発達障害を取り巻く環境	1	試験
		15	国家試験対策 小児・発達障害・精神障害・遺伝	2,3	試験

合計 30 次官

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	メンタルヘルス入門	藤井久和・藤本修	創元社
2	視能学		文光堂
3	現代の眼科学	所敬・吉田晃敏	金原出版

臨床心理学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

患者の心理を理解する前段階として、小児の心理特性を学ぶ。人間の発達段階について学び、患者との関係を理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　臨床心理学とは 2　乳児の臨床心理学から学ぶ 3　臨床心理学実習 4　不快の心理と対応 5　知的障害者の臨床心理学から学ぶ 6　言語障害 7　自閉症 8　軽度発達障害	資料 配布	試験

病理学概論

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

医学の進歩の歴史、ヒトの疾病像（原因、身体の変化、診断、治療）について概論的に学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　医療倫理 2　健康・疾病・障害の基本的知識 3　疾病の回復メカニズム 4　病期 5　加齢・老化	1．2	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫編	文光堂
2	現代の眼科学	所敬	金原出版

臨床医学Ⅰ

（取得単位数:2 単位）

教育の目的

医療従事者として、代表的な疾患の成り立ちを学ぶ。また、眼に何らかの異常を示す全身疾患は多く、そのような疾患の基本的な症状について学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	2	22	1　疾病の原因 2　病因と疾病の種類 (1)　感覚器系疾患 (2)　運動器系疾患 (3)　外科系疾患 (4)　老年期疾患	資料 配布	試験
		8	1　小児の発育 2　小児の生理と発達 3　小児栄養 4　未熟児 5　新生児疾患 呼吸障害・分娩障害・感染症・ 消化器疾患・神経疾患・ アレルギー疾患	資料 配布	試験

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	現代の眼科学	所敬	金原出版
3	シンプル内科学		南江堂

臨床医学Ⅱ

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

病院実習に向けての知識・技術を総括し、病院実習に関わる事項を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
3	2	8	1　診療記録の見方 2　手洗い 3　感染症	配布資料	試験
		22	病院実習オリエンテーション	配布資料	

合計 30 時間

精神保健

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

精神障害を理解するため、心の発達を学ぶ。人格を知るために、自分の性格を知る。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　精神健康序論 2　精神科疾患 (1)　機能性（内因性）精神疾患 (2)　器質性精神疾患 (3)　神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 (4)　人格障害 (5)　小児・青年・老年期の精神障害 (6)　心身医学的疾患	配布資料	試験

薬理学Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

医薬品の作用原理を学ぶと同時に、医薬品の使用目的を知り、医薬品の正しい認識と存在意義を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　総論1　薬とは何か？　薬の使用目的 2　総論 2　薬理作用 3　総論 3　薬の体内動態と影響を受ける因子 4　抗感染症薬 5　免疫反応治療薬 6　末梢神経に作用する薬 7　呼吸器・消化器に作用する薬 8　漢方薬その他	1	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	系統看護学講座専門基礎分野5　薬理学	小島操子	医学書院
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
3	現代の眼科学	所敬	金原出版
4	点眼薬クリニカルブック	庄司　純	金原出版

薬理学Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

眼の機能を支配する神経と、眼科領域の薬物の関連について学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	12	1　眼科薬物の基本的知識 2　眼科薬物の投与法 3　眼科薬物の副作用 4　医薬品による健康被害 5　薬理のまとめ	1、4	試験
		3	国家試験対策	1	なし

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	系統看護学講座専門基礎分野5　薬理学	小島操子	医学書院
2	視能学	丸尾敏夫･久保田伸枝	文光堂
3	現代の眼科学	所敬	金原出版
4	点眼薬クリニカルブック	庄司　純	金原出版

臨床関連医学

（取得単位数:2 単位）

教育の目的

医療従事者として必要な基礎知識として、救命法、健診業務、看護法を理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　電子カルテのしくみ 2　保険診療のしくみ	配布資料	試験

医用電子工学概論

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

一般的なME機器を中心に、それらの基本原理、操作の基本、安全性などについての知識・技術を習得する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	10	1　医療機器と家電製品との違い 2　生体電気と増幅器の考え方 3　トランスジューサーの種類と原理 4　商用交流電源からの雑音防止 5　実習 (1)　アースの取り方 (2)　測定条件の設定 (3)　校正 (4)　電極装着 (5)　測定上の注意点 (6)　後片付け	資料 配布	試験
		5	1　電気生理学的検査 網膜電図（ERG）	2	試験 ＊

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾　敏夫編	文光堂

備考　＊大西先生の内容は、視機能総論実習の試験に含む。

視覚生理学Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視器の各要素や脳が、視覚発生時にどのような役割を担い、どのような仕組みで働くか理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	12	視覚情報処理過程の概要 (1)　感覚の一般的性質 (2)　光の性質 (3)　視覚発生の仕組み (4)　視覚の運動性調節	1、3	試験
		3	視覚生理学Ⅰの復習	1	なし

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	現代の眼科学	所敬	金原出版
3	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
4	眼科検査ガイド	根本昭	文光堂
5	眼科プラクティス6　眼科診療に必要な解剖生理	大鹿哲郎	文光堂

視覚生理学Ⅱ

（取得単位数：1単位）

教育の目的

視器の各要素や脳が、視覚発生時にどのような役割を担い、どのような仕組みで働くか理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	12	1　光覚 (1)　網膜の光化学 (2)　明順応 (3)　暗順応 (4)　分光視感効率（比視感度） 2　色覚 (1)　色の性質 (2)　色覚の学説 (3)　色覚異常の種類と検査 3　形態覚 (1)　評価法 (2)　視力検査法 (3)　視力に影響する因子 (4)　網膜部位と視力 (5)　コントラスト感度 4　視野 (1)　概念 (2)　動的測定と静的測定 (3)　視野に影響する因子 (4)　視野異常 5　眼の電気生理 (1)　脳波（EEG） (2)　筋電図（EMG） (3)　電気眼振図（ENG） (4)　眼球電図（EOG） (5)　網膜電図（ERG） (6)　視覚誘発電位（VEP）	1	試験
		3	細隙灯検査	1	試験 ＊1
		1	光覚について	1	試験 ＊2

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	現代の眼科学	所敬	金原出版
3	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
4	眼科検査ガイド	根本昭	文光堂
5	眼科プラクティス6　眼科診療に必要な解剖生理	大鹿哲郎	文光堂

備考　　＊1　澁谷先生の内容は、視機能総論実習の試験に含む。
　　＊2　佐藤先生の内容は、視機能総論実習の試験に含む。

視覚生理学Ⅲ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視器の各要素や脳が、視覚発生時にどのような役割を担い、どのような仕組みで働くか理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	8	1　光覚全般 2　色覚全般 3　視野全般 4　眼の電気生理全般	資料 配布	試験
		7	光干渉断層計〈OCT〉	1	なし

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	現代の眼科学	所敬	金原出版
3	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
4	眼科検査ガイド	根本昭	文光堂
5	眼科プラクティス6　眼科診療に必要な解剖生理	大鹿哲郎	文光堂

生理光学Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

光学の基礎を理解し、眼球を一つの光学系としてどう捉えるか理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	12	1　屈折・調節の異常 (1)近視 (2)遠視 (3)乱視 2　レンズの特徴 3　正乱視の種類	2、4、6	試験 ＊1
		3	1　結像関係 (1)　バージェンス (2)　虚と実 (3)　結像の図式解法	4、6	試験 ＊2

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	新しい眼光学の基礎	西信元嗣・魚里博	金原出版
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
3	視能矯正学	丸尾敏夫・粟屋忍	金原出版
4	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
5	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
6	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

備考　＊1　道見先生の試験内容は、前期の視機能総論実習（道見先生担当分）に含む。

＊2　中野先生の講義内容は、物理学の試験に含む。

生理光学Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

光学の基礎を理解し、眼球を一つの光学系としてどう捉えるか理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　調節 2　屈折矯正の基礎となるレンズ光学 3　プリズム 4　輻湊角	2、4、6	試験 ＊

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	新しい眼光学の基礎	西信元嗣・魚里博	金原出版
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
3	視能矯正学	丸尾敏夫・粟屋忍	金原出版
4	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
5	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
6	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

備考　＊　道見先生の試験内容には、後期の視機能総論実習（道見先生担当分）も含む。

生理光学Ⅲ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

光学の基礎を理解し、眼球を一つの光学系としてどう捉えるか理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	12	眼球光学 (1)　眼球光学系の特徴 (2)　模型眼とその名称 (3)　眼の軸と角度 (4)　眼の収差 (5)　瞳孔と入射瞳 (6)　プルキンエーサンソン像 (7)　プリズム・フィルター (8)　調節と屈折矯正原理 (9)　倍率の基礎 波動光学 (1)　波動理論 (2)　光の粒子性 (3)　干渉・偏光・回析・散乱 (4)　ミラーと反射像	2、6	試験
		3	レンズメーター アニセイコニアテスト	2、4、6	試験 ＊

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	新しい眼光学の基礎	西信元嗣・魚里博	金原出版
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
3	視能矯正学	丸尾敏夫・粟屋忍	金原出版
4	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
5	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
6	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

備考　　＊　道見先生の内容は視能矯正学Ⅱ（道見先生担当分）の試験に含む。

生理光学演習

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

眼鏡やコンタクトレンズに関わる知識や技術を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	4	1　遮光眼鏡の処方の実際 2　眼鏡のフィッテングの実際	2、6	なし
		12	眼鏡光学	3	なし
		4	特殊コンタクトレンズ	3	なし
		10	コンタクトレンズ全般	2、6	試験

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	新しい眼光学の基礎	西信元嗣・魚里博	金原出版
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
3	メガネの科学　21　基礎編		HOYA ビジョンケアカンパニー
4	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
5	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
6	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

公衆衛生学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

健康をめぐる社会医学的な諸問題について、広い知識を身に付ける。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　公衆衛生学の定義 2　疫学概論と疾病予防 (1)　健康に影響する環境（環境汚染） (2)　身体的・精神的・心理的影響 (3)　疫学的方法による健康の理解 (4)　健康診査 3　健康指標 (1)　人口問題 (2)　生命表、死亡率 (3)　平均寿命と平均余命 4　予防医学	1	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	わかりやすい公衆衛生学　第版	清水　忠彦 佐藤　拓代　編集	ヌーヴェルヒロカワ

社会福祉学概論

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

社会福祉への関心と理解を高め、障害を持つ方と交流する上での心構えを習得する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　社会福祉とは（意義と現状） 2　社会福祉と社会保障 3　医療保障 4　所得保障1 5　所得保障2 6　介護保険 7　公的扶助 8　社会福祉の分野	配布資料	試験

関係法規

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

医療従事者に関する法規を熟知し、その特殊専門性の意義を理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　法の概念 2　視能訓練士法 3　医師法とコメディカルの関係法規 4　診療録について 5　視能訓練士に必要な関係法規 6　医療安全対策 7　心肺蘇生法と一次救命・二次救命 8　国家試験対策	1、2	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	系統看護学講座専門基礎分野10　看護関係法令	森山幹夫	医学書院
2	視能学	丸尾敏夫	文光堂

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ Ⅰ

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

視覚を含む感覚障害を持つ人の生活と、それを支援する方法について学ぶ。
同行援護の基礎を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	8	1　視覚障がい者(児)の福祉サービス 2　同行援護の制度と従業者の業務 3　障害・疾病の理解	1.2	ﾚﾎﾟｰﾄ
		10	1　障がい者(児)の心理 2　情報支援と情報提供 3　代筆・代読の基礎知識 4　同行援護の基礎知識	1.2	なし
		12	移動支援に係る秘術に関する演習 1　基礎技能 2　応用技能	資料配布	なし

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	同行援護授業者表性研修テキスト最新版		
2	ポイントマスターロービジョンケア		三輪書店

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝⅡ

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

同行援護のの応用を学び、障がい者支援の知識・技術を高める。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	16	1　障害・疾病の理解 2　障がい者(児)の心理 3　移動支援に係る秘術に関する演習 (1)場面基礎技能 (2)場面応用技能 (3)交通機関の利用	1.2.3	なし
		4	車椅子対応の実践	なし	ﾚﾎﾟｰﾄ
		10	ロービジョン補助具の選定	1.2.3.	試験

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	同行援護授業者表性研修テキスト最新版		
3	ポイントマスターロービジョンケア		三輪書店

視器の解剖学・生理学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

視覚器の構造と機能を系統的に学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　視器の組織・解剖 (1)　眼球 (2)　眼球付属器 (3)　視神経 2　眼球の解剖学的、幾何学的計測値 3　眼球の組織構造 4　眼球の血管系 5　眼窩の骨 6　視覚伝導路 7　眼の自律神経系 8　近見反応 9　眼圧・房水 10　涙液	1	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	現代の眼科学	所敬	金原出版
3	視能矯正学	粟屋忍・丸尾敏夫	金原出版
4	プラクティス6　眼科臨床に必要な解剖生理	大熊哲郎	文光堂

視器の解剖学・生理学演習

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

演習発表を通して、視覚器の構造と機能についての理解を深める。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	1　発表の仕方 2　視器の組織・解剖 (1)　眼球 (2)　眼球付属器 (3)　視神経 3　眼球の解剖学的、幾何学的計測値 4　眼球の組織構造 5　眼球の血管系 6　眼窩の骨 7　視覚伝導路 8　眼の自律神経系 9　眼の体性神経系 10　眼圧・房水 11　涙液	資料 配布	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	現代の眼科学	所敬	金原出版
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
3	プラクティス6　眼科臨床に必要な解剖生理	大熊哲郎	文光堂
4	分担解剖学		金原出版

眼筋の解剖学・生理学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

眼筋の構造と機能を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　神経及び筋肉の基本的機能 (1)　位置覚と自己受容器 (2)　筋の興奮収縮連関 (3)　神経・筋の静止電位と活動電位 2　外眼筋の作用と眼球運動 (1)　外眼筋の単独作用 (2)　単眼運動とその法則 (3)　共同筋と拮抗筋 (4)　外眼筋の神経支配 3　斜視のボツリヌス毒素療法 4　内眼筋の解剖 5　瞳孔反応・調節・輻輳	1	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院
4	現代の眼科学	所敬	金原出版
5	視能矯正学	粟屋忍・丸尾敏夫	金原出版

両眼視機能総論・各論Ⅰ

（取得単位数：1単位）

教育の目的

斜視・弱視に関する視機能、特に眼球運動及び両眼視機能を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	1　両眼視の定義 2　両眼視の発達 3　両眼視成立の生理学的機序 4　網膜対応・両眼視野 5　ホロプターとVieth-Mullerの円 6　Panumの融像感覚圏 7　両眼視の成立条件 8　融像 9　静的立体視と動的立体視 10　視野闘争と抑制 11　固視ずれ 12　不等像視 13　複視 14　国家試験過去問題演習	1、2	試験

備考　＊この授業は実務教育科目である。

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版

両眼視機能総論・各論Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

斜視・弱視に関する視機能、特に眼球運動及び両眼視機能を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　両眼視成立の生理学的機序 2　両眼視の発達と障害	1、3	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正学	粟屋忍・丸尾敏夫	金原出版
3	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

視能矯正学研究法

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

得られたデータを論文にまとめる方法を、演習を通して学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	1　論文とは 2　わかりやすい表現 3　実験のプランを立てる 4　実験のプランの検討 5　データ取り 6　データベース作成 7　解析の流れ 8　データ解析 9　統計処理と論文文章の書き方 10　考察まとめ 11　学会発表について	資料 配布	ﾚﾎﾟｰﾄ

備考　＊この授業は実務教育科目である。

視機能総論実習

（取得単位数:3 単位）

教育の目的

講義で学んだ視覚系の構造と機能について実習を行い、理解を深める。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	3	30	澁谷　政子	1　視野検査 (1)　視野の定義 (2)　視野と視覚伝導路 (3)　視神経乳頭とマリオット盲点 (4)　静的自動視野検査 （ハンフリー・オクトパス） 2　細隙灯顕微鏡 3　実技試験（視野検査）	1、2、4	試験、 ＊2 実技 試験
		24	佐藤　亜希子	1　屈折検査 (1)　オートレフラケラトトメーター (2)　トポグラフィー (3)　屈折検査のまとめ 2　眼底検査（直像鏡） 3　光覚検査 4　実技試験（他覚的屈折検査）	1、4	試験、 ＊2 実技 試験
		25	道見　照子	1　視力検査 (1)　形態覚 (2)　視力のあらわし方 (3)　ランドルト環作成 (4)　視力の種類 (5)　遠見視力検査 2　自覚的屈折検査 3　瞳孔間距離測定 (1)　遠見瞳孔間距離の測定 (2)　近見瞳孔間距離の測定 4　プリズム	1、5、8	試験 ＊1 ﾚﾎﾟｰﾄ
		14	石垣　さやか	1　眼位検査 2　眼底カメラ撮影	1、4、7	試験 ＊3
		12	大西　淑子	1　電気生理検査 眼球電図（EOG） 2　両眼視機能検査	1、4、7	試験 ＊2
		30	菅田　範子	1　眼圧検査 (1)　ノンコンタクトトノメーター (2)　トノペン (3)　シェッツ眼圧計 (4)　眼圧検査のまとめ 2　角膜検査 (1)　角膜知覚計 (2)　綿糸法 (3)　プラチド角膜計 3　涙液検査 シルマー試験 4　外眼筋の作用 5　コンタクトレンズ 6　眼球突出・眼瞼検査	1、4	実技 試験、 試験

合計 135 時間

備考　＊この授業は実務教育科目である。

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版
3	現代の眼科学	所敬	金原出版
4	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
5	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
6	プログラムフローチャートですすめる眼科検査法 40	大阪医療福祉専門学校視能訓練学科、湖崎克	メディカ出版
7	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
8	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

基礎視能矯正学

（取得単位数:4単位）

教育の目的

国家試験に合格するために、試験範囲となる科目の復習をし、ポイントをまとめる。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
3	4	8	市戸　義久	基礎医学のまとめ	1、4	
		8	大西　淑子	斜視のまとめ	1、7	
		14	道見　照子	生理光学のまとめ	1、6、8	
		8	中島　理子	1視能検査学（細隙灯・隅角検査・Goldmann 眼圧計など）のまとめ 2網膜疾患とOCT・眼底写真（FAG・ICG）	1、3	
		4	菅田　範子	解剖のまとめ	1、4	
		2	石垣　さやか	OCT のまとめ	1、3	
		4	澁谷　政子	視能矯正・視野のまとめ	1、7	
		12	今泉　由紀	神経眼科のまとめ	1、2	

合計 60 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	神経眼科　臨床のために		医学書院
3	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
4	現代の眼科学	所敬	金原出版
5	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
6	メガネの科学　21　基礎編		HOYA ビジョンケアカンパニー
7	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
8	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

斜視・弱視の検査・診断Ⅰ

（取得単位数：1単位）

教育の目的

斜視、弱視の検査と診断・治療の総論。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	8	斜視の種類と病態、診断と治療 1　交代性上斜位 2　上下斜視 3　A-V 型斜視 4　斜視手術の基本と各術式 5　画像診断	1、3	試験
		7	1　調節性内斜視 2　微小斜視 3　麻痺性斜視 4　斜視の特殊型 Duane 症候群 Brown 症候群 固定斜視 general fibrosis syndrome 重症筋無力症　他	1、3	試験

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正マニュアル	川村緑　他	メディカル出版
3	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

斜視・弱視の検査・診断Ⅱ

（取得単位数：1単位）

教育の目的

斜視、弱視の検査と診断・治療の総論。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	7	弱視 (1) 検査 (2) 分類 (3) 治療	1、5	試験
		8	1 器質的疾患と弱視の関係 2 臨床症例等	1	試験

合計 15 時間

＊佐藤先生の試験内容は、斜視・弱視の検査・診断演習Ⅰ（佐藤先生担当分）を含む。

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正学	丸尾敏夫・粟屋忍	金原出版
3	視能矯正マニュアル	川村緑　他	メディカル出版
4	視能矯正　理論と実際	弓削経一	金原出版
5	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

斜視・弱視の検査・診断演習Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

斜視・弱視の検査・診断で学んだことを活かし、実際の検査法や訓練法を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	6	中島　理子	斜視の手術	1、2、3	試験
		2	大橋　勉	1　眼振 2　瞳孔	1、2、3	なし
		16	大西　淑子	1　斜視の検査・診断 2　両眼視の検査・診断	1、2、3	
		6	石垣　さやか	両眼視検査のまとめ		

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正学	丸尾敏夫・粟谷忍	金原出版
3	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版
4	視能矯正の実際	植村恭夫	金原出版
5	視能矯正　理論と実際	弓削経一	金原出版
6	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

斜視・弱視の検査・診断演習Ⅱ

（取得単位数：1単位）

教育の目的

斜視・弱視の検査・診断で学んだことを活かし、実際の検査法や訓練法を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	1　眼球運動（解剖・作用・法則等） 2　眼球運動検査（共同性・非共同性） 3　Parks’の3ステップ 4　両眼視機能訓練 5　眼位検査 (1)　他覚的検査法 (2)　自覚的検査法	1、2、3	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正学	丸尾敏夫・粟谷忍	金原出版
3	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版
4	視能矯正　理論と実際	弓削経一	金原出版
5	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

視機能の検査・診断Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視機能についての検査・診断・治療法を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	8	網膜疾患 (1) 診断 (2) 疾病 (3) 治療	1	試験
		7	眼球運動 複視	1、2	試験

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

視機能の検査・診断Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視機能（屈折・調節・視野）についての検査・診断法を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	14	1　矯正レンズの光学 2　収差 3　眼内レンズの光学 4　屈折矯正手術	1、2、3	試験
		1	両眼開放視力・フレネル膜・遮閉膜	2、3	＊

合計 15 時間

＊石垣先生の試験内容は、視能矯正学演習Ⅰ（石垣先生担当分）を含む。

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	屈折異常とその矯正	所　敬	金原出版
2	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂

視機能の検査・診断Ⅲ

（取得単位数:2単位）

教育の目的

視機能検査についての検査・診断法を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
3	2	10	国家試験対策	資料 配布	なし
		8	視野検査のまとめ 国家試験問題	1、3	なし
		4	1　斜視手術・訓練のまとめ 2　両眼視のまとめ	1、5	試験
		8	1　斜視・弱視患者へのアプローチ 2　各屈折異常における眼鏡	1、7	なし

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
3	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版
4	現代の眼科学	所敬	金原出版
5	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
6	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

視機能の検査・診断演習Ⅰ

（取得単位数：1単位）

教育の目的

視機能検査についての検査・診断法を、より具体的に症例検討も含めて学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	4	視野検査（ハンフリー自動視野計）	資料配布	なし
		16	視野検査の実践	1、2	試験
		10	視野検査	1、2	試験

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版
3	現代の眼科学	所敬	金原出版
4	眼科検査ガイド	根木昭	文光堂

視機能検査学実習

（取得単位数:3 単位）

教育の目的

講義で学んだことを復習し、実習を通して理解をより一層深める。また、臨床に応用できる心がまえ、技術を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	3	22	1　固視検査 2　コントラスト検査 3　レンズメーター（投影式・自動式） 4　検影法	1、2、3	試験
		34	1　視力矯正（乱視表・ｸﾛｽｼﾘﾝﾀﾞｰ・二色テスト）・仕上げ 2　調節検査 3　レンズメーター（望遠鏡式） 4　アニセイコニアテスト	1、2	ﾚﾎﾟｰﾄ
		28	1　視野検査（GP） 2　超音波検査（A・B モード） 3　両眼視訓練	1	ﾚﾎﾟｰﾄ
		24	1　眼圧検査 2　瞳孔検査 3　CFF 4　色覚検査	資料配布	試験
		24	1　眼位検査 2 (1)フレネル膜プリズム (2)両眼開放視力検査 3 光干渉断層計（OCT）、眼底カメラ 4 両眼視機能検査	1、2	試験
		3	1 実技試験オリエンテーション 2 実技まとめ（視力・眼位・視野・両眼視・眼球運動・レンズメーター）	なし	実技試験

合計 135 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正マニュアル	丸尾敏夫	メディカル出版
3	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
4	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院
5	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂

斜視・弱視総論Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

斜視・弱視に関する基本知識を学ぶ。眼位異常による病的な視機能について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	5	斜視の基本的知識 (1)　定義 (2)　病因論 (3)　分類	1、5	試験
		10	斜視概論復習 弱視概論復習	1、5	なし

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正学	丸尾敏夫・粟屋忍	金原出版
3	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版
4	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
5	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

斜視・弱視総論Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

斜視・弱視に関する基本知識を学ぶ。眼位異常による病的な視機能について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	2	弱視の生理学	資料配布	なし
		12	弱視の基本的知識 (1)　小児視能特性 (2)　定義 (3)　病因論 (4)　分類 (5)　検査	1、5	試験
		1	総合試験対策	1	総合試験

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正学	丸尾敏夫・粟屋忍	金原出版
3	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版
4	視能矯正　理論と実際	弓削経一	金原出版
5	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

小児眼科学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

眼疾患を持つ子供との関わり方、乳幼児の眼科検査、小児の眼科的疾患を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1 視器の形態及び機能的発達とその異常 2 小児眼科の一般検査法の種類・手技 3 小児の眼瞼・結膜、眼窩疾患 4 小児の眼内疾患 5 小児の視神経・視路、心因性視覚障害 6 小児の屈折・調節異常 7 弱視・斜視 8 眼球運動異常	資料 配布	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	小児眼科	田淵昭雄	金原出版
2	現代の眼科学		金原出版

神経眼科学

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

様々な神経疾患（頭蓋内病変）により引き起こされる眼科的所見、症状を系統的に理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1 臨床に必要な神経解剖学 2 視覚野・視路と視神経疾患 3 眼瞼機能と眼瞼下垂 4 眼球運動の神経生理学 5 眼球運動障害の症例 6 眼自律神経 7瞳孔と調節機能	1、3、5	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	神経眼科　臨床のために	藤野貞	医学書院
3	現代の眼科学	所敬	金原出版
4	ビジュアルテキスト　脳神経		医学書院
5	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院

眼疾病学Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

両眼視機能の障害を含め、様々の眼科的疾患について解剖学的部位別に学習する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　角膜疾患 2　ぶどう膜疾患 3　網膜・硝子体疾患 4　緑内障 5　眼窩疾患 6　全身病と眼（高血圧） 7　画像検査 　(1)　眼底画像検査 　(2)　エックス線撮影・CT・MRI	1	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	現代の眼科学	所敬	金原出版
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂

眼疾病学Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

両眼視機能の障害を含め、様々の眼科的疾患について解剖学的部位別に学習する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	8	1　眼瞼疾患 2　涙器疾患 3　結膜疾患 4　角膜・強膜疾患	1、2	試験
		7	5　水晶体疾患 6　緑内障 7　網膜・硝子体疾患 8　全身病と眼		

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	現代の眼科学	所敬	金原出版
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂

視能矯正学Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視能矯正学の検査と診断・治療の総論

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　水平 2　上下・AV 型斜視について 3　微小斜視	1、2	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂

視能矯正学Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視能矯正学の検査と診断・治療の総論

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	1　自覚的屈折検査 (1)クロスシリンダー (2)2 色テスト 2　眼位と屈折 3　プレンティスの公式 4　不同視 5　眼鏡レンズと頂間距離 6　雲霧法	2、4	試験 ＊

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
3	新しい眼光学の基礎	西信元嗣	金原出版
4	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

備考　＊この授業は実務教育科目である。

視能矯正学Ⅲ

（取得単位数：2単位）

教育の目的

視能矯正に関わる検査、診断・治療について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
3	2	8	両眼視機能のまとめ 両眼視訓練の実際	資料 配布	なし
		6	両眼視機能検査のまとめ	1、2、3	なし
		10	1　視野のまとめ（特殊視野） 2　臨床現場での検査・視能矯正 3　臨床実習の実際	1、2、3	試験
		6	病院実習について（総合病院）・ 視能訓練士の業務	資料 配布	なし

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能矯正マニュアル	丸尾敏夫	メディカル出版
4	眼科薬剤クイックリファランス	大橋裕一　他	南江堂
5	視能矯正の実際	植村恭夫	金原出版
6	眼科検査ガイド		文光堂

視能矯正学Ⅳ

（取得単位数：2単位）

教育の目的

視能矯正に関わる検査、診断・治療について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
3	2	8	1　弱視のまとめ 2　薬理のまとめ 3　関係法規のまとめ	1	試験
		16	1　視能訓練士と視能矯正 2　斜視視能矯正	1、2	なし
		6	眼科における写真撮影（FA・IA）・OCT	資料配布	なし

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能矯正マニュアル	丸尾敏夫	メディカル出版
4	眼科薬剤クイックリファランス	大橋裕一　他	南江堂
5	眼科検査ガイド		文光堂

視能矯正学Ⅴ

（取得単位数：2単位）

教育の目的

視能矯正に関わる検査、診断・治療について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
3	2	14	視能矯正のまとめ	1、3	なし
		16	症例検討（主訴から検査結果まで）	1	試験

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能矯正マニュアル	丸尾敏夫	メディカル出版
4	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂

視能矯正学Ⅵ

（取得単位数:2 単位）

教育の目的

視能矯正に関わる検査、診断・治療について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
3	3	12	1　視能矯正ロールプレイング（準備・発表・復習） 2　視能矯正の実際	1、5	なし
		4	視野検査の実際	なし	なし
		5	病院実習について（大学病院）	なし	なし
		5	眼調節機能測定（AA-1、アコモド）	なし	なし
		5	1　大型弱視鏡のまとめ 2　3年生の眼の検査（両眼視・その他）	1、2	実技試験
		14	1　問診 2　患者対応 3　履歴書 4　電話 5　面接・総評	7	

合計 45 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
3	視能矯正マニュアル	丸尾敏夫	メディカル出版
4	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
5	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
6	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院
7	Hand-book of LIFE STYLE		日本販売企画

視能矯正学演習Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視能矯正に関わる検査、診断・治療について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	4	1　コンタクトレンズの適応について 2　コンタクトレンズの種類について (1) ハードコンタクトレンズ (2) ソフトコンタクトレンズ (3) 使い捨てコンタクトレンズ 3 特殊コンタクトレンズについて	1	試験
		4	涙液レンズの処方について	1	
		6	両眼視訓練機器について	1・2	試験 ＊1
		6	自動視野計（ハンフリー・オクトパス）の実際のまとめ	資料配布	レポート
		8	OCT の実際	資料配布	試験 ＊2
		2	弱視の治療	1、2、3	総合試験

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能矯正マニュアル	丸尾敏夫	メディカル出版
4	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
5	視能矯正の実際	植村恭夫	金原出版

視能矯正学演習Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視能矯正に関わる検査、診断・治療について理解する。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	8	1　輻湊・開散と調節の総論 2　調節性内斜視	1、2、3	試験
		22	1　大型弱視鏡 2　眼球運動検査 3　HESS 4　AC／A比 5　眼位検査 6　両眼視機能検査	1、2	試験

合計 30 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

視能矯正学実習

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視機能や視機能障害について臨床で実践できるレベルまで身につける。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	45	1　大型弱視鏡 2　HESS 3　AC/A 比 4　OKN 5　VEP	1、2、3	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院
4	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂

備考　＊この授業は実務教育科目である。

ロービジョン総論・各論

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

視覚障害について知識を高め、ロービジョンケアの重要性を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
3	1	4	1　定義 2　ロービジョンケアの概念 (1)　弱視（社会的・教育的） (2)　盲（社会的・教育的） 3　評価 4　訓練と援助	1	なし
		6	視覚障害者と補装具等	1	試験
		5	国家試験対策	1	試験

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	新しいロービジョンケア		メジカルビュー社

総合臨床実習Ⅰ

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

社会人として円満な人間関係を築くのに必要なマナーを身に付ける。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	32	1 敬語 2 電話対応 3 来客対応 4 社内・社外文書 5 コミュニケーションスキルアップ検定対策 6 履歴書指導	1	実技試験及び試験
		13	1 OSCEにむけて 2 病院実習へ向けた取り組み 3 総合的知識		なし

合計 15 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	Hand-book of LIFE STYLE		日本販売企画
2	コミュニケーションスキルアップ検定		ニューブックス

総合臨床実習Ⅱ

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

保健・医療・福祉に関わる現場で見学・実習し、医療従事者としての人間性を深める。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
3	1	4	眼底写真撮影実習	なし	実技評価
		16	1 視力検査 2 対数視力・自覚的視力検査 3 3 年生の眼の検査（視力） 4 小児の視力検査について	資料配布1	試験
		6	1 小児の検査 2 小児検査の準備	資料配布	なし
		5	保育園眼の検査	資料配布	なし
		10	OSCE（オスキー）の実際	なし	なし
		4	コンタクトレンズのまとめ	なし	なし

合計 45 時間

保健・保育・教育・福祉施設等実習Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

保健・医療・福祉に関わる現場で見学・実習し、医療従事者としての人間性を深める。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
1	1	6	眼科診療の実際	資料配布	ﾚﾎﾟｰﾄ
		6	1　視能訓練士の役割と眼科医療の実際 2　グループワーク	資料配布	ﾚﾎﾟｰﾄ
		18	保育園での保育実習	資料配布	ﾚﾎﾟｰﾄ
		15	盲導犬協会見学実習	資料配布	ﾚﾎﾟｰﾄ

合計 45 時間

保健・保育・教育・福祉施設等実習Ⅱ

（取得単位数：1単位）

教育の目的

保健・医療・福祉に関わる現場で見学・実習し、医療従事者としての人間性を深める。

授業予定表

学年	単位数	時間	講義内容	教科書	評価法
2	1	6	札幌市視聴覚障がい者情報センター見学実習	資料配布	レポート
		6	北海道視覚支援学校見学実習	資料配布	レポート
		6	富士めがね見学実習	資料配布	レポート
		10	介助実習	資料配布	レポート
		6	視能訓練士業務について (1)眼科検査の理解 (2)臨床用語・略語などカルテの読解方法 (3)各疾患ごとの診療の流れ	資料配布	なし
		11	症例記録の書き方	資料配布	なし

合計 45 時間

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
2	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
3	新しいロービジョンケア		メジカルビュー社

病院臨床実習

（取得単位数:11単位）

教育の目的

眼科医療の現場での見学・実習を通して、知識の向上と責任感を養う。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
3	11	495	各病院施設	1　検査・訓練等の見学や実施 2　診察・手術の見学	資料配布	病院実習評価

両眼視機能総論・各論Ⅰ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

斜視・弱視に関する視機能、特に眼球運動及び両眼視機能を学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	大西　淑子	1　両眼視の定義 2　両眼視の発達 3　両眼視成立の生理学的機序 4　網膜対応・両眼視野 5　ホロプターと Vieth-Muller の円 6　Panum の融像感覚圏 7　両眼視の成立条件 8　融像 9　静的立体視と動的立体視 10　視野闘争と抑制 11　固視ずれ 12　不等像視 13　複視 14　国家試験過去問題演習	1、2	試験

備考　＊この授業は実務教育科目である。

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版

備考

試験は筆記試験による ABCDF の 5 段階評価とし、F 評価は単位不認定とする。

※　この授業は実務教育科目である。
（視能訓練士として両眼視機能の基礎を教授する）

視能矯正学研究法

（取得単位数:1 単位）

教育の目的

得られたデータを論文にまとめる方法を、演習を通して学ぶ。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	澁谷　政子	1　論文とは 2　わかりやすい表現 3　実験のプランを立てる 4　実験のプランの検討 5　データ取り 6　データベース作成 7　解析の流れ 8　データ解析 9　統計処理と論文文章の書き方 10　考察まとめ 11　学会発表について	資料 配布	ﾚﾎﾟｰﾄ

備考　＊この授業は実務教育科目である。

備考

評価は研究実施後のレポートより ABCDF の 5 段階評価とし、F 評価は単位不認定とする。

※　この授業は実務教育科目である。
（視能訓練士として理論の探求理解と考察への導きを教授する）

視機能総論実習

（取得単位数:3 単位）

教育の目的

講義で学んだ視覚系の構造と機能について実習を行い、理解を深める。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	3	30	澁谷　政子	1　視野検査 (1)　視野の定義 (2)　視野と視覚伝導路 (3)　視神経乳頭とマリオット盲点 (4)　静的自動視野検査 （ハンフリー・オクトパス） 2　細隙灯顕微鏡 3　実技試験（視野検査）	1、2、4	試験、 ＊2 実技 試験
		24	佐藤　亜希子	1　屈折検査 (1)　オートレフラケラトトメーター (2)　トポグラフィー (3)　屈折検査のまとめ 2　眼底検査（直像鏡） 3　光覚検査 4　実技試験（他覚的屈折検査）	1、4	試験、 ＊2 実技 試験
		25	道見　照子	1　視力検査 (1)　形態覚 (2)　視力のあらわし方 (3)　ランドルト環作成 (4)　視力の種類 (5)　遠見視力検査 2　自覚的屈折検査 3　瞳孔間距離測定 (1)　遠見瞳孔間距離の測定 (2)　近見瞳孔間距離の測定 4　プリズム	1、5、8	試験 ＊1 レポート
		14	石垣　さやか	1　眼位検査 2　眼底カメラ撮影	1、4、7	試験 ＊3
		10	大西　淑子	1　電気生理検査 眼球電図（EOG） 2　両眼視機能検査	1、4、7	試験 ＊2
		32	菅田　範子	1　眼圧検査 (1)　ノンコンタクトトノメーター (2)　トノペン (3)　シェッツ眼圧計 (4)　眼圧検査のまとめ 2　角膜検査 (1)　角膜知覚計 (2)　綿糸法 (3)　プラチド角膜計 3　涙液検査 シルマー試験 4　外眼筋の作用 5　コンタクトレンズ 6　眼球突出・眼瞼検査	1、4	実技 試験、 試験

合計 135 時間
備考　＊この授業は実務教育科目である。

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫･久保田伸枝	文光堂
2	視能矯正マニュアル	川村緑	メディカル葵出版
3	現代の眼科学	所敬	金原出版
4	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂
5	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
6	プログラムフローチャートですすめる眼科検査法 40	大阪医療福祉専門学校視能訓練学科、湖崎克	メディカ出版
7	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
8	視能学エキスパート　光学･眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

備考

試験は筆記試験または実技試験による ABCDF の 5 段階評価とし、F 評価は単位不認定とする。。

※　この授業は実務教育科目である。
（視能訓練士として各検査の理論と実技を教授する）

視能矯正学Ⅱ

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視能矯正学の検査と診断・治療の総論

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	道見　照子	1　自覚的屈折検査 (1)クロスシリンダー (2)2 色テスト 2　眼位と屈折 3　プレンティスの公式 4　不同視 5　眼鏡レンズと頂間距離 6　雲霧法	2、4	試験 ＊

備考　＊この授業は実務教育科目である。

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫・久保田伸枝	文光堂
2	屈折異常とその矯正	所敬	金原出版
3	新しい眼光学の基礎	西信元嗣	金原出版
4	視能学エキスパート　光学・眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院

備考

試験は筆記試験による ABCDF の 5 段階評価とし、F 評価は単位不認定とする。

※　この授業は実務教育科目である。
（視能訓練士として視力検査の基礎と応用を教授する）

視能矯正学実習

（取得単位数:1単位）

教育の目的

視機能や視機能障害について臨床で実践できるレベルまで身につける。

授業予定表

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	45	大西　淑子	1　大型弱視鏡 2　HESS 3　AC/A 比 4　OKN 5　VEP	1、2、3	試験

教科書及び参考図書

No	書名	著者名	発行所
1	視能学	丸尾敏夫･久保田伸枝	文光堂
2	視能学エキスパート　視能訓練学	日本視能訓練士協会	医学書院
3	視能学エキスパート　光学･眼鏡	日本視能訓練士協会	医学書院
4	眼科検査ガイド	根木　昭	文光堂

備考　＊この授業は実務教育科目である。

備考

試験は筆記試験による ABCDF の 5 段階評価とし、F 評価は単位不認定とする。

※　この授業は実務教育科目である。
（視能訓練士として検査機器の使用と応用を教授する）